

かめやま

2015 FEB

2 / 1

No.231



輝き^{ライフ}人生 ^下 ^{ふみの}史典さん

主な内容

市制施行10周年記念式典	2
未来を担う460人の新成人が誕生	6
美し国三重市町対抗駅伝 がんばれ！亀山市代表チーム	10
輝き ^{ライフ} 人生	12
暮らしの情報	18



亀山市携帯サイト

祝 亀山市市制施行10周年記念式典



10年の歩みを礎に、次なるステージへ 亀山市市制施行10周年記念式典

平成17年1月11日に旧亀山市と旧関町が合併し、新しい「亀山市」が誕生してから10周年を迎えました。これを記念して、1月11日、市文化会館大ホールで、亀山市市制施行10周年記念式典を開催しました。会場には約800人が訪れ、10周年の節目を市民の皆さんと盛大にお祝いしました。



記念式典では、櫻井市長が10年間の歩みを振り返りながら「この式典を、今後も亀山市が輝かしい歴史を刻み続けるため、豊かな自然と歴史文化、恵まれた交通拠点性と産業などの地域資源、そして、人とひとの信頼の絆に磨きをかけ、さらなる飛躍へ心あわせの機会としたい」と式辞を述べました。



功労表彰 特別表彰

市政の各般にわたり市の振興にご貢献いただいた方に功労表彰が、教育、芸術、文化等の振興に寄与された方および公益のため私財をご寄附いただいた方に特別表彰が行われました。

功労表彰では、65 人の方が表彰され、受賞者を代表して安藤利正さんと佐々木宣明さんが壇上で表彰を受けました。

特別表彰では、12 人 5 団体の方が表彰され、受賞者を代表して田中のぶさんが壇上で表彰を受けました。

また、市制施行 10 周年記念事業である原動機付自転車のご当地ナンバープレートの最優秀作品が披露されました。



1 2
3 4

1 安藤利正さん 2 佐々木宣明さん
3 田中のぶさん
4 ご当地ナンバープレートの最優秀作品



名誉市民 中村晋也さん ふるさと亀山への思いを語られました

亀山市名誉市民で彫刻家の中村晋也さんにお越しいただき、これまでの功績や亀山とのかかわりを映像で紹介しました。中村さんは「ふるさと亀山の文化を亀山の人々が築いた宝だと思って、次世代に残す取り組みをしてほしい。亀山から平成の文化を立ち上げていただきたい」と亀山への思いを込めた祝辞を述べられました。



市制施行 10 周年記念寄席 「笑う門には福来る！」

記念式典の第 2 部では、市制施行 10 周年記念寄席として、亀山市文化大使で落語家の 3 代目林家菊丸さんによる「笑う門には福来る！」と題した記念落語が演じられました。林家菊丸さんの軽妙な語りとテンポの良い落語で、会場は大きな笑い声に包まれました。



亀山市の10年

10周年を迎えた亀山市のあゆみを年表と写真で振り返ります。

2005

平成 17 年

- 1月 11日 亀山市と関町が合併し新「亀山市」が誕生
亀山市総合環境研究センター設立
- 2月 5日 合併後初の市長選挙で、田中亮太氏が無投票で当選
- 3月 13日 東名阪自動車道・亀山インターチェンジから伊勢自動車道・伊勢関インターチェンジまでの直結線が開通
- 3月 29日 亀山市の市章決定



市章（デザイン者：坂井秀行さん）

2006

平成 18 年

- 1月 19日 公募により、市の花が「花しょうぶ」、市の木が「杉」に決定
- 3月25・26日「こどもエコクラブ全国フェスティバル」が亀山市で開催
- 5月 1日 亀山里山公園「みちくさ」がオープン
- 8月 シャープ（株）第2工場が生産稼働
- 10月 1日 ご当地ナンバーとして、鈴鹿ナンバーがスタート



亀山里山公園「みちくさ」

2007

平成 19 年

- 4月 1日 第1次亀山市総合計画がスタート
亀山 PA スマート IC が本格運用開始
「市民協働センター」がオープン
※ 2008年4月には、公募により名称が「みらい」に決定
- 4月 15日 太岡寺「ぼんた橋」が完成
- 4月 15日 三重県中部を震源とする地震が発生し、亀山市において最大震度5強を観測
- 10月 23日 太岡寺町の国道1号に名阪国道と直結する「大阪方面ランプ（入り口）」が完成



「市民協働センター」がオープン

2008

平成 20 年

- 2月 21日 亀山市人口5万人達成
3月3日に記念式典を開催
- 2月 23日 新名神高速道路亀山 JCT～草津田上 IC 間（49.7km）が開通
- 3月 1日 市内内科系医師と市立医療センターが協力し、夜間時間外応急診療開始
- 3月 23日 名阪国道から太岡寺町の国道1号線への直結連絡路が完成



人口5万人達成記念式典

2009

平成 21 年

- 1月 19日 亀山市歴史的風致維持向上計画が歴史まちづくり法の第1号認定
- 2月 6日 亀山市長選挙において、櫻井義之氏が初当選し、就任
- 3月 25日 新しい亀山市斎場が供用開始
- 12月 17日 彫刻界の第一人者で文化勲章受章者の中村晋也氏が亀山市名誉市民に決定



新名神高速道路 亀山 JCT



亀山市斎場

2010

平成 22 年

- 1月 11日 市制施行5周年記念式典を開催
- 4月 1日 「亀山市まちづくり基本条例」を施行
- 4月 30日 全国に先駆け、学校等が7連休となる「家族の時間づくりの日」
- 7月 9日 西部森林地域等 11,500ha が、国の公害等調整委員会により鉱区禁止地域に指定
- 7月 13日 WHO健康都市連合に県内の自治体として初めて加盟



市制施行5周年記念式典

2011

平成 23 年

- 3月 11日 東日本大震災が発生 市職員派遣の支援活動を実施
- 3月 20日 亀山中学校校舎改築工事が竣工
- 3月 26日 関中学校校舎改築工事が竣工
- 3月 31日 全国初となるITを活用した「亀山市史」が完成
- 6月 1日 三重大学に市立医療センターをフィールドとする寄附講座（亀山地域医療学講座）を設置



関中学校

2012

平成 24 年

- 1月 4日 待機児童館「ばんび」の開所
- 3月 26日 JR井田川駅前の整備工事の竣工
- 4月 1日 第1次亀山市総合計画・後期基本計画がスタート
- 4月 17日 岡山県高梁市と災害時相互応援協定を締結
※7月10日には青森県五所川原市とも締結



岡山県高梁市と
災害時相互応援協定を締結

2013

平成 25 年

- 2月 6日 櫻井市長が再選、2期目がスタート
- 3月 9日 「亀山べにほまれ紅茶」復活プロジェクトとして、茶園の開墾・再生作業の開始
- 4月 1日 市長を本部長とする「行財政改革推進本部」を新たに設置
- 4月 7日 旧亀山城多門櫓「平成の大修理」完成記念式
- 4月 14日 川崎地区まちづくり協議会が設立
※4月20日には昼生地区まちづくり協議会が設立
- 10月 1日 市民活動応援制度による市民活動応援券を発行



「亀山べにほまれ紅茶」復活プロジェクト

2014

平成 26 年

- 3月 30日 市道賀白川線「忍山大橋」が開通
- 4月 1日 「亀山市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」を施行
- 5月 10日 「かめやま文化年 2014」オープニングセレモニーを開催
- 7月 13日 亀山市消防団（第9分団：関地区中央）が、三重県消防操法大会の小型ポンプの部で初優勝
- 8月 9日 台風11号の影響により、三重県全域に初めて「大雨特別警報」が発表
- 12月 10日 関宿が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されて30周年

2015

平成 27 年

- 1月 11日 市制施行10周年



二十歳の門出

1月12日 市文化会館大ホールで成人式を開催

笑顔で再会した新成人たちは、記念すべきこの日をみんなで祝いました。
そして、460人の新成人たちは、大人へ新たな一歩を踏み出しました。



「家族の幸せが自分の幸せ」と言える家庭をつくりたい



おおうえ たかゆき
大上 貴之さん
(布気町)

私は、両親の勧めもあって、小学生の時に野球を始めました。その時から、甲子園に出たいという想いを胸に、ずっと野球に打ち込んできました。

しかし、私が高校生の時に、けがをしてしまい、練習や試合に出られなくなりました。チームのみんながどんどん上手くなっていく中で、自分だけが取り

残されているようで、つらくて辞めたいと思うようになりました。そんな時、父は私に「野球を勧めたのは、仲間がいれば、つらい時も、喜ぶことも一緒にできるからだ。自分も野球をすることで、仲間と一緒になら、つらさは2分の1になるし、同時に、喜びは人数分増えるという体験をしてきたからだ」と言ってくれました。また母は、「今できることをしたらいいよ。家族全員で支えてあげるから野球に打ち込んだらいい。家族の幸せが自分の幸せだよ」と言ってくれました。その時気付いたのは、私が試合の時には父がどんなに仕事が忙しくても必ず応援に来てくれたこと、野球の練習で泥だらけになったユニフォームを母が毎日、真っ白になるまで洗ってくれたことなど、どんな時も家族のみんながサポートしてくれました。また、チームメイトから「早く戻ってこいよ。待ってるからな」と声を掛けてくれたことも思い出しました。

それから両親やチームメイトからの言葉を胸に、甲子園に向けて、つらい時も嬉しい時も仲間と一緒に、練習を重ねました。残念ながら、県大会ではベスト8までしか進むことができませんでしたが、私は野球を通して、礼儀やマナー、野球を通じた友人を得ることができた強く感じました。

県大会で敗れた直後に、監督から「今までの経験が、いずれはプラスになっていく。卒業しても頑張れよ」と言葉をいただきました。

高校卒業後は、監督からもらった言葉を胸に、社会人としてはまだまだ半人前ですが、会社員として忙しい日々を送っています。“先輩から認められ、仕事を任されたい”という想いをもって、仕事を頑張っています。

また、私はいつか結婚し、子どもができたときに、私が育ってきた家庭のように「子どもを支えられ、家族の幸せが自分の幸せ」と、子どもに胸を張って言える家庭をつくっていきたいです。

夢に向かって頑張れるのは支えてくれる家族がいるから

私は今、名古屋学芸大学で、ファッションの勉強をしています。大学では、コンテストに向けてデザイン画を起こしたり、織り機や友禅染を活用したオリジナルの生地づくり、また、百貨店の売り上げ分析をするなど、ファッションをテーマに幅広く学んでいます。

大学には亀山から毎日、往復6時間をかけて通っています。そして、毎日のように出される学校の課題も、自分の納得できるものを提出しようと、家に帰宅してから深夜まで作業を続けています。

「そんな生活、すごく大変なんじゃないか？」と思われる方も多いかもかもしれません。しかし私自身、その大変さよりも、毎日の授業が新鮮で楽しく、「ファッション関係の仕事に就きたい」という自分の夢に向かって努力できることに喜びを感じる毎日です。

私の家族はとても仲が良く、妹も私も自分の部屋を使うことがなく、ほとんどの時間を家族が集まるリビングで過ごします。

学校で嫌なことがあったり、課題に行き詰まったりする時もありますが、自分が一番落ち着ける空間で過ごすことで、気持ちがリセットされ、「また、明日から頑張ろう。」という気持ちが湧いてきます。

私が夢に向かって頑張りが続けることができるのは、いつも支えてくれていて、何があっても私の味方でいてくれる家族の存在があるからだと思います。

20歳という節目の日を迎え、これから自分がどのような道を歩んでいきたいかを考えた時、思い出した母の言葉があります。「自分でやると決めたことは最後までやり抜きなさい。途中で投げ出すことはするな」という言葉です。これから先、就職活動など大きな壁にぶつかり、悩み苦しむことがあるかもしれませんが、しかし、そんな時こそ、母のこの言葉を胸に、強い意志を持って自分の夢の実現に向かって挑戦し続けたいと思います。

最後になりましたが、両親をはじめ、今日この日まで私を支えてくれた全ての人に感謝し、新成人の言葉とさせていただきます。



さかい みゆ
酒井 美侑さん
(安坂山町)



より早く！より安全に！

救急現場へ消防車が出動！

傷病者の救命のためには、迅速で安全・確実な救急活動が不可欠です。
 ここでは、亀山市の平成26年中の救急出動に関する概要と、救急車と消防車の同時出動についてお伝えします。

平成26年中の救急出動に関する概要

■救急出動件数が減少！

市の救急出動件数は年々増加傾向にありましたが、昨年は過去最多を記録した平成25年の2,114件から72件減少し、2,042件となりました。

救急出動件数と搬送人員（速報値）

	出動件数	搬送人員
平成24年	1,923件	1,863人
平成25年	2,114件	2,065人
平成26年	2,042件	1,931人

■病院収容までの平均所要時間が短縮

平成26年の現場到着までの平均時間は9分48秒で、前年と同水準でした。また、医療機関収容までの平均時間は44分24秒となり、前年より36秒短縮しました。

※119番通報を受けた時間から起算しています。

現場到着と病院収容までの平均時間（速報値）

	到着時間	病院収容
平成24年	9分24秒	42分30秒
平成25年	9分48秒	45分00秒
平成26年	9分48秒	44分24秒

救急初動体制の充実のため 消防車も出動しています

救急車と消防車の同時出動について、
亀山消防署消防第一担当の浅見秀大主査にお話を伺いました。



亀山消防署 消防第一担当
ひでひろ
浅見秀大 主査



救急隊と消防隊による傷病者の搬送

救急時の「消防隊」の主な任務

- ・ 救急隊の処置の補助
- ・ 傷病者の救急車内への搬送
- ・ 救急現場の安全確保
- ・ 救助活動
- ・ ドクターヘリ、防災ヘリの誘導 など

市消防本部では、傷病者の状態や出動場所の状況に合わせ、より迅速で安全に救急業務が遂行できるよう、救急車と同時に消防車が出動することがあります。

119番通報時に傷病者が重篤な状態であると予測されたり、マンションなど高層階からの搬出など、救急隊だけでは対応が困難な場合には、火災でなくても消防車が駆け付け、救急隊と連携した救急活動を実施しています。

「救急車を呼んだのに消防車がサイレンを鳴らして来た」と驚かれるかもしれませんが、適切な救急活動のため、ご理解とご協力をお願いします。

■救急車の適正な利用にご協力ください

昨年度の市消防本部の救急出動件数は減少しましたが、依然として緊急性が低いと思われる事例がみられます。

本当に救急車を必要とする、緊急性が高い方への対応が遅れることがないように、引き続き救急車の適正な利用にご協力をお願いします。

なお、救急車を呼ぶほどではないが、診察してもらえない病院がわからないなど、困ったときは、救急医療情報システムをご利用ください。

●救急医療情報システム

医療情報センター（対人案内） ☎82-1199
パソコン [URL http://www.qq.pref.mie.lg.jp/](http://www.qq.pref.mie.lg.jp/)
携帯電話 [URL http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/](http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/)
自動案内 ☎0800-100-1199

（通話料無料・ファクスでも受診可能）

※受診の際は、必ず紹介された医療機関に事前確認してください。

●小児救急医療相談事業

#8000（各都道府県に窓口があります）

問合せ先 市消防本部消防救急室（☎82-9496）

第8回 ^{うま} 美し国三重市町対抗駅伝 がんばれ！ 亀山市代表チーム

2月15日(日) 午前8時45分スタート！

県庁前～三重交通G スポーツの杜 伊勢(県営総合競技場陸上競技場) 10区間 42.195km



亀山市代表として参加する皆さん(敬称略)

2月15日(日)、「第8回美し国三重市町対抗駅伝」が、県庁前(津市)から「三重交通G スポーツの杜 伊勢(県営総合競技場陸上競技場)」(伊勢市)までの、10区間、42.195kmで開催されます。

本大会は、県内のスポーツ推進を図るため、ジュニア世代の発掘・育成と、スポーツを「する」「みる」「支える」すべての県民の意識を高めることを目的としています。

昨年の大会で、亀山市代表チームは、市の部11位、総合成績13位でした。

今年も市体育協会が中心となり、今年度開催されたさまざまな大会の結果を参考に選手選考を行いました。

郷土への思いを込めて走る亀山市の代表選手に、熱い声援をお願いします。

監督	田中 春行(亀山市体育協会役員)		
コーチ	磯矢 典志(中部中学校教諭)		
第1区	小学生女子 1.28km	岡 千鶴 (井田川小学校)	松浦 涼 (井田川小学校)
	小学生男子 1.85km	服部 聖真 (亀山西小学校)	岩崎 翔 (井田川小学校)
第2区	中学生女子 3.83km	丹賀 遥奈 (中部中学校)	久木 佑菜 (中部中学校)
	中学生男子 5.58km	石井 翔也 (亀山中学校)	木村 魁人 (中部中学校)
第3区	40歳以上男子 4.60km	稲田 英輔 (八千代工業(株))	立花 寛之 (柳河精機(株))
	ジュニア男子 6.36km	下 史典 (伊賀白鳳高校)	金崎 舜 (鈴鹿工業高等専門学校)
第4区	一般女子 2.89km	大津 雪菜 (鈴鹿高校)	駒田 紗希 (鈴鹿高校)
	20歳以上女子 3.43km	増田 瑛里紗 (本田技研工業(株)鈴鹿製作所)	田中 郁帆 (㈱辻プロテック工業)
第5区	ジュニア女子 5.45km	平山 璃奈 (津商業高校)	尾野 涼風 (津商業高校)
	20歳以上男子 6.925km	サムエル ガンガ (ワールドインテック)	津田 淳一 (皇學館大学)

※大会当日は、以上のメンバーから各区間一人が走ります。

大会へ向けての意気込み



●田中春行監督

新生亀山チームで、亀山市民の声援を力にかえ、チーム最高順位・最高記録の更新を目指し、伊勢路を激走します。



●磯矢典志コーチ

経験者も多く、新戦力も加わり、亀山チーム一丸となって、過去最高順位を狙います。

代表選手から一言！

●服部聖真さん（小学生男子）

自分が持っている力を全部出し切れるように、気持ちを入れて頑張ります。

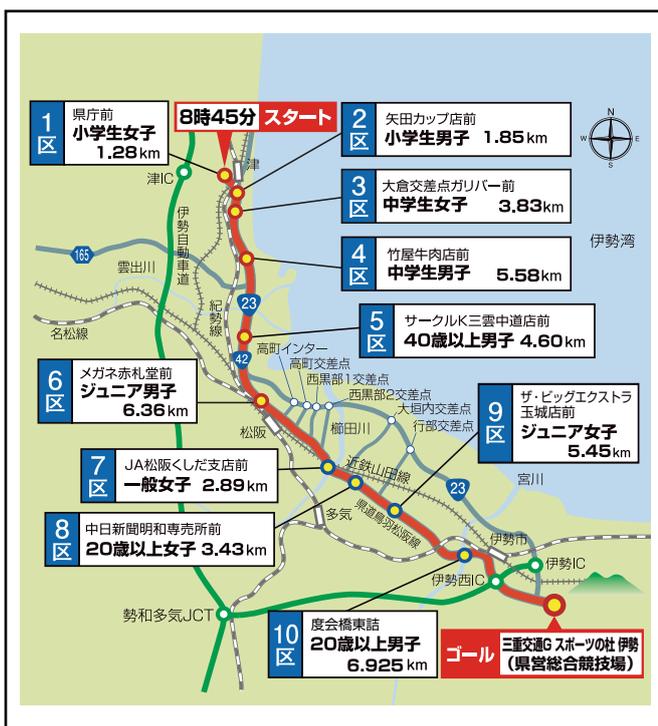
●サムエル ガンガさん（20歳以上男子）

NEVER GIVE UP! 区間賞を目指して頑張ります。

●下 史典さん（ジュニア男子）

走らせていただけることに感謝し、亀山市の上位入賞に貢献します。

亀山市のゼッケンは5番です応援してね！



美し国三重市町対抗駅伝の情報は…

三重陸上競技協会のホームページでは、大会要項、コース、代表選手一覧や通過順位などの速報を閲覧することができます。

URL http://www.mierk.jp/pref_ekiden

また、携帯サイトでも速報をリアルタイムで閲覧することができます。

なお、大会の様子は、三重テレビで完全生中継されますので、ぜひご覧ください。



問合せ先

- 亀山スポーツ連合会 (☎97-3686)
- 市民文化部文化振興局文化スポーツ室 (☎84-5079)
- 第8回美し国三重市町対抗駅伝運営委員会事務局 (☎090-6351-8020)



輝き人生

このコーナーではきらりと輝きながら活躍する市民を紹介します。

夢は東京オリンピック

しも 下 ふみのり
史典さん (能褒野町)



中学生の時から使っている大切な靴。
一昨年の全国高校駅伝で区間賞を獲得。

昨年12月の「男子第65回全国高等学校駅伝競走大会」で、各校のエースが集う花の1区に出場し、一昨年の6区に続いて見事区間賞を獲得した伊賀白鳳高等学校3年生の下史典さん。主将として、走りチームを引っ張るだけでなく、声掛けやフレンドリーな雰囲気づくりで、チームを一つにまとめてきました。卒業後、駒澤大学の陸上部に進む下さんは、世界を目指し走り続けます。

一始めたきっかけは？

「父や兄と野球やサッカーをするなど、運動が大好きでした。小学1年生の時、マラソン大会で優勝してから陸上を始め、小学4年生からJAC亀山、中学校では陸上部で活動していました。」

一駅伝の強豪校、伊賀白鳳高校へ。

「もっと速くなりたい、強い選手と戦いたい」と思い、先輩からのアドバイスが決め手となり決意しました。進学する時“全国大会に出場して活躍する”と両親と約束し、結果が出なくて苦しい時期も、くじけてはいけなと自分に言い聞かせて練習を続けました。先輩や同級生のライバルの存在も大きく、刺激を受けたり励ましあったりして成長することができたと思います。主将になって責任感や自覚が芽生え、それが自分の走りや成績にもいい方向につながっていききました。」

一最後の全国高校駅伝、見事な走りでした。

「1年間の個人の目標は“1区で

区間賞をとり、チームに最高の勢いをつける”こと。スタートラインに並んだ時、その目標を実現できるかもしれない状況が目前にあり、ワクワクする気持ちでした。ラスト1kmでスパートをかけ、思い描いていたレース展開になり、今まで続けてきたことが間違っていなかったことを走りて実現でき、大きな自信となりました。」

一これからは？

「個人で走るよりも、絆の深さやチームへの思いが一つになる駅伝が大好きで、大学でも、出雲・全日本・箱根の3大駅伝を走りたい。長い距離を粘って走るのが自分の持ち味。世界を目指してフルマラソンにも挑戦し、2020年の東京オリンピックに出場したいですね。」

毎月21日は
「市民交流の日」
きらめき亀山21

市民活動



コーナー

楽しい交流会

12月のきらめき亀山21は、クリスマス交流会を開催し、参加者が日頃それぞれの活動をしながら感じたことや近況報告などを発表し、楽しく意見交換をしました。

主な意見

- ▷私は、亀山を題材にした唄の作詞をしたことがあるが、今度は市内のある名所について作詞をしてほしいと依頼があった。できる限り期待に応えられるよう、これからも意欲的に活動していきたい。
- ▷県が市民活動団体を育成・支援する「美し国おこし・三重」事業が今年度で終了する。せっかくパートナー登録をしたので、これからも幅広く活動していくためにも、事業が終わってからもフォローがあると良い。
- ▷甲冑を着てイベントで練り歩く機会が増え、参加者には楽しんでもらっている。これからも皆さんに楽しんでいただけるような活動をしていきたい。

参加者からさまざまな意見が挙げられ、これからの活動について考える有意義な時間となりました。

2月のきらめき亀山21は、『楽しく語ろう「終末談議」』と題して、一生をどう終えるか、どう終えたいかについて話し合います。参加者が楽しく情報交換をし、今後のそれぞれの活動のヒントとしてもらえればと考えます。

きらめき亀山21は、人と人との交流の場です。申し込みは不要で誰でも参加できますので、ぜひお越しください。

2月の市民交流の日

- テーマ 楽しく語ろう「終末談議」
- とき 2月21日(土) 午後7時30分～9時30分
- ところ 市民協働センター「みらい」1階多目的ホール
- 参加費 無料
- 問合せ 市民文化部 文化振興局 共生社会推進室 ☎84-5066

URL <http://shimin-kyodo.sakura.ne.jp/kirakame21/>

れきし散歩

—世界に冠たる明治生まれの亀山人— 映画監督衣笠貞之助と言語学者服部四郎 服部四郎、故郷の方言から始まった日本語研究

はじめに

歴史博物館で現在開催中の企画展「—世界に冠たる明治生まれの亀山人— 映画監督衣笠貞之助と言語学者服部四郎」では、いよいよ最後の展示、第3部「服部四郎、故郷の方言から始まった日本語研究」が、2月7日(土)から始まります。



—高時代の服部四郎

そこで、今回のれきし散歩では、展示します服部四郎の遺品から、故郷亀山でのことや、言語学者としての事績について紹介します。

小学校時代の服部四郎

服部四郎は、明治41(1908)年5月29日に生まれました。その後、四郎は、大正4(1915)年4月、鈴鹿郡亀山第一尋常高等小学校(現在の亀山西小学校につながります)の尋常科に入学します。

大人になってから、服部四郎は、小学校の担任であった柴田先生との当時の思い出話を録音しています。その中で、先生は「几帳面で真面目で、試験の答え合わせは、四郎の答案を模範解答として丸付けをした」と語っています。“とにかく勉強がとてもよくできる子”という印象があったようです。

この点について、服部四郎自身は「几帳面なのは、とても厳しかった母の影響があったかもしれない」と語っています。

言葉の違いを聞き分ける

四郎は、小学生の頃から、自分の両親や学校の友達の話す言葉が、出身地が数キロ離れているだけの距離にもかかわらず、違うことに気付いています。また、この頃にローマ字に興味を持ち、ローマ字の綴りからS I「スイ」、T I「ティ」、T U「トゥ」というように発音できることを知ったり、夏の夕涼みで友達とT Y A「テヤ」、T Y U「テユ」、T Y O「テヨ」などの難しい発音の競争をして遊んだそうです。

このように、小学生の頃から言葉に非常に強い興味と関心を持っていました。

言語研究の広がり

大正10(1921)年3月、亀山町亀山尋常高等小学校の尋常小学校を卒業した四郎は、三重県立津中学校を1年早い4年で卒業、その後、第一高等学校、東京帝国大学文学部言語学科と進み、昭和6(1931)年に大学を卒業しました。卒業後、研究室に残った服部四郎は、学術振興会の奨学金を得て、昭和8(1933)年から昭和11(1936)年まで、日本語の起源(日本祖語)を求めて単身モンゴルへ赴きました。この調査で、ロシア語、タタール語、ブルアット語、蒙古語などを修得しながら、その言語を研究する中で、長い間、調査の手伝いをしてくれたマヒラさんと結婚し、帰国しています。



ハイラルでの結婚式と祝福の布

その後、同大学の講師、助教授となり、昭和18(1943)年、論文「元朝秘史の蒙古語を表はす漢字の研究」で文学博士の学位を授与されました。

服部四郎の研究は、日本祖語を探すことにありますが、音声言語を収集分析する方法を行い、そのために、アジア言語、沖縄方言、アイヌ方言の広範な言語や方言を録音収集しました。



昭和44(1969)年に教授を退官後も言語研究を続け、学問を通じた日本文化への貢献が認められ、昭和58(1983)年に文化勲章を受章しています。

故郷の言葉

服部四郎は、平成7(1995)年1月29日、86歳で死去しますが、終生続けた日本祖語を求めた背景には、自分自身が、また周囲の人が話していた亀山町の言葉が心の中に存在し続けていたのでしょう。

平成27年度 市民活動応援制度 登録団体が決定！

「市民力で地域力を高めるまちづくり」を進めるための市民参加型の「市民活動応援制度」は、「市民活動応援券」を使用して、亀山市のまちづくりにがんばっている市民活動団体（登録団体）を応援する制度です。

登録団体は、各地区コミュニティやまちづくり協議会、市民の皆さんから事業またはサービスの依頼を受けたり、市民の皆さんから寄附を受けたりすることができます。

この度、登録団体の募集を行い、市民活動応援制度審査検証委員会の審査後、平成27年度の登録団体が決定しました。
※平成27年度の登録団体は16～17ページをご覧ください。

問合せ 市民文化部 文化振興局 共生社会推進室 ☎84-5066



※平成27年度版は色などを変更します。



市民活動応援制度冊子

※平成27年度版は色などを変更します。

今後、登録団体を紹介する平成27年度版「市民活動応援制度冊子」を、各地区コミュニティセンター、市役所本庁舎、関支所、林業総合センター、市立図書館、あいあい、市民協働センター「みらい」などに設置しますので、ご覧ください。

市民活動応援券(応援券)の配付

- 平成27年度版の応援券は、4月1日に市が発行し、随時、各地区コミュニティやまちづくり協議会に交付します。
 - 各地区コミュニティやまちづくり協議会が、市民の皆さんに応援券を配付する事業を決定します（決定時期や決定事業は、各地区によって異なります）。
 - 応援券の配付事業に参加した人は、応援券を手にすることができます。
- ※平成25・26年度発行の応援券の有効期限は、平成27年3月31日です。有効期限後は使用できませんので、ご注意ください。

市民活動応援券(応援券)の使い方

1 登録団体に、事業またはサービスを提供してもらったお礼として使用することができます

Q. 登録団体へお礼って、どうするの？

A. 「市民活動応援制度冊子」に、登録団体が、提供できる事業またはサービスの内容を記載していますので、依頼した場合、応援券をお礼として使用してください。個人での依頼、または子ども会や婦人会、自治会などのグループで応援券を集めて依頼することもできます。

Q. じゃあ、どう使ったらいいの？

A. 「市民活動応援制度冊子」を見て、“この団体に、〇〇教室や〇〇演奏をしてもらおうかなあ”などと思ったら、冊子に記載された連絡先に電話をして、依頼してください。



3 市民同士で、自由に使用できます

市民同士であげたり、もらったり、自由に使用できます。ただし、お金に換えることはできません。



2 登録団体に寄附として使用することができます

寄附方法①

直接、登録団体へ寄附をする。

寄附方法②

寄附ボックス(常設場所:市民協働センター「みらい」)や寄附ボードに投函する。
※寄附ボックスは、期間を設けて市内数カ所を巡回します。巡回時期は、次ページをご覧ください。

※寄附ボードは、地区コミュニティやまちづくり協議会のイベントで設置することができます。

市・県民税、所得税の申告相談日等に合わせて
市民活動応援券の寄附ボックスを
 臨時に設置します



設置日	設置会場	設置時間
2月 2日(月)	神辺地区コミュニティセンター	9:00～16:00
2月 3日(火)	昼生地区コミュニティセンター	9:00～16:00
2月 4日(水)	川崎地区コミュニティセンター	9:00～16:00
2月 5日(木)	野登地区コミュニティセンター	9:00～16:00
2月 6日(金)	井田川地区北コミュニティセンター	9:00～16:00
2月 9日(月)	白川地区南コミュニティセンター	9:00～11:30
	小川地区生活改善センター	13:30～14:30
	南部地区コミュニティセンター	15:00～16:00
2月10日(火)	東部地区コミュニティセンター	9:00～11:30
	和賀公民館	13:30～16:00
2月12日(木)	林業総合センター	13:30～16:00
2月16日(月)	市役所 ※20日(金)まで	9:00～17:00
2月23日(月)	関支所 ※27日(金)まで	9:00～16:30
3月 2日(月)	あいあい ※6日(金)まで	9:00～16:30

市民の視点から一緒に考えてみませんか? 審査検証委員会委員を募集します



市では、市民活動応援制度の団体登録の審査や制度全般を検証するための審査検証委員会を設置しています。委員の任期満了に伴い、委員を募集します。

会議は、平成27年度、平成28年度ともに3回程度で、平日に開催する予定です。

応募資格 平成27年1月1日現在で満20歳以上の市内に住所を有する人

任 期 平成27年4月1日～平成29年3月31日

募集人数 2人(うち1人は、本制度の団体登録申請をしない市民活動団体に所属する人)

※応募者多数の場合は、応募用紙による書類選考を行います。

応募期限 2月20日(金)必着

応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、市民文化部文化振興局共生社会推進室(〒519-0195 本丸町577 FAX 82-9955 ☒kyoseisyakai@city.kameyama.mie.jp)へ提出(郵送・ファクス・Eメール可)してください。

※応募用紙は、市役所本庁舎、関支所、市民協働センター「みらい」にあります。また、市ホームページからもダウンロードできます。

平成27年度市民活動応援制度の
 登録団体は次ページをご覧ください。

～家族の団らん・親子の語らい・
 地域とのふれあいを応援します～



5月1日(金)は 休業日!

4月	25日(土)
	26日(日)
	27日(月)
	28日(火)
	29日(水)
	30日(木)
5月	1日(金)
	2日(土)
	3日(日)
	4日(月)
	5日(火)
	6日(水)

家族の時間
 づくりの日

連休拡大

亀山市の家族の時間づくり週間

※振替日は、夏季休業中の登校日とします。

主な取り組み

- 事業所・経済団体・労働団体に趣旨の理解を求め、協力を呼びかけます。
- 公共施設の無料公開や特別公開を行います。
- 保育園の保護者に取り組みの趣旨を啓発します。

市民文化部 文化振興局
 共生社会推進室 ☎84-5066

平成27年度

市民活動応援制度 登録団体



部門	No.	団体名	活動内容
福祉	1	アモーレかめやま	亀山市内のイベント（文化祭、敬老会）で大正琴を演奏。ボランティアで、小学校や病院、老人福祉施設などでも演奏。
	2	かぼちゃの会	高齢者や障がい者が地域を越えて、気軽に集い、交流し合える場を提供。
	3	車椅子レクダンス普及会亀山支部	私たちは、高齢化や、さまざまな障がいの有無にかかわらず、誰もが同じように暮らせる社会環境を実現するための活動を実施。また老人ホームや福祉施設を訪問し、車椅子レクダンスを楽しんでもらっている。
	4	文化箏「華音流」	亀山市のあいあい祭りや地区コミュニティの敬老会で文化箏を演奏。ボランティアで、老人福祉施設でも演奏。
	5	ぼっかぼかの会	平成26年5月より、あいあい1階喫茶室にてカフェを営業。障がいのある子どもたちの働く場、だれでも集えるコミュニティーカフェを目指している。働く場につながるクッキー、梅干し作り、座談会・講演会なども開催。
	6	三重断酒新生会 亀山例会	アルコール依存者の自力更生を促し、人権を守り依存問題の解決を通して福祉向上を図る。
環境	7	亀山の自然環境を愛する会	小学校で、年6回の川・水路体験などを実施したり、2日間の川体験を通じての環境教育を実施。青少年科学の祭典や県・市合同の鈴鹿川体験や環境展で展示したり、鈴鹿川、坂本棚田の生き物や水質調査を実施。
	8	下庄里山公園 保存会	観音像のある下庄の観音山を里山公園として整備し、市民に散策コースとして利用してもらうとともに、歴史資産を周知。
	9	城北サル研究会	サル害対策について地域の問題として考える会。
	10	ひょうたんの会	希少植物の保護、特に最近見られなくなったササユリの保護、育成、増殖に取り組む。
教育	11	亀山民話を語る会	亀山を中心に、三重県や全国に伝わる民話を、高齢者施設、コミュニティ施設、学校などを訪ねて語り、楽しむとともに民話を普及。
	12	坂下星見の会	季節の星空観察会や、星まつりなどの催事を行う。天文教室や、関連の工作教室を行ったり、移動式のプラネタリウム（室内）も実施。要望により、地域コミュニティや、小学校など出前講座にも出向いている。
	13	関パソコンサークル	平成18年より22年まで、中央公民館の出前講座（ワード・エクセル）の補助講師を行い、25年度は天神・和賀地区・26年度は南部地区で講師。また、地区のコミュニティよりの依頼でパソコン講座を開催し、地域の方にパソコンの楽しさを提供。
文化	14	アートグループ Majo+	東町商店街の空店舗を利用し、美術文化の振興と街の活性化を目的に、毎月1日～7日にアートギャラリーを運営。美術作品の展示等。
	15	池山かんこ踊り 保存会	池山かんこ踊りを通して地域の活性化と伝統芸能の継承を行うとともに、青少年に郷土愛と優しい心を育む育成を目指している。
	16	いたがわ川柳会	毎月1回第4金曜日に川柳教室の開催。亀山市民文化祭の市民川柳大会等に参画。市内数カ所において川柳作品を展示して、啓発や広報等の活動。
	17	亥の子保存会	「亥の子」は、猪の多産にあやかり家内繁栄と、稲の豊作を祝い田の神に感謝する行事。稲わらをすぐり束ねて縄でかたく縛り「こん棒」のように作った「亥の子」を毎年旧暦10月15日の夜、子どもたちが各家の玄関前で唄に合わせて地面をつく。
	18	オカリナ・チャオ	市民文化祭などで、オカリナの演奏。地区コミュニティの行事や、福祉施設を訪問して、オカリナの演奏で楽しく歌ってもらっている。
	19	亀山ギターサークル こだま	敬老会や介護施設でギター演奏とともに、皆さんと一緒に童謡、小学唱歌、歌謡曲を歌う活動を実施。亀山市民文化祭などでギター演奏を披露。
	20	亀山キロハナ	フラダンスで発表会や各種イベント、各地慰問などを実施。
	21	亀山詩の会	奇数月の第2または第3月曜日の午後から例会。作品を持ち寄り、合評会を開催。機関誌「オリオン」を年1回発行。
	22	亀山少年少女合唱団	幼・小・中・高で構成。主に、市内の行事（桜まつり、童謡フェスタ、さいまつコンサートなど）に出演したり、各施設や敬老会で合唱。
	23	亀山川柳会	毎月第2土曜日に御幸地区コミュニティセンターで例会を開催。広く市民の皆さんのご参加を希望。毎月、機関誌「川柳亀山」を発行。市内各地で作品展を開催。
	24	亀山ハーモニカクラブ アンダンテ	地区コミュニティや老人施設等に出向き、童謡、唱歌、歌謡曲等を演奏。
	25	亀山ハーモニカ 元気クラブ	敬老会や介護施設、地区コミュニティで、ハーモニカ演奏とともに、皆さんと一緒に童謡、小学唱歌、歌謡曲を歌う活動を実施。亀山市民文化会館などでハーモニカ演奏を披露。

部門	No.	団体名	活動内容
文化	26	亀山俳句会	毎月第1土曜9:00～城西地区コミュニティセンターでの俳句会は、どなたでも参加していただける場として開放。石水溪まつり、みつまたまつり、市民俳句会（春・秋）等で、市民の皆さんとともに俳句づくりを楽しむ活動を実施。
	27	「亀山めぐり唄」普及グループ	亀山市の良い所を詩にして、曲を付け、音頭として踊る。
	28	川崎瀧進絵会	亀山市あいあい祭り、文化祭、文化創造活動発表会、地域夏まつり、地区コミュニティ敬老会、ボランティア、一人暮らし集い（社協主催）、老人施設等で民謡を唄っている。
	29	木崎祭り保存会	東海道関宿に江戸時代から伝わる「関の山車」を保存・伝承と祇園囃子の伝承並びに技能者の育成に努めつつ、敬老会等のイベントにおいて演奏の披露。
	30	金王道整備保存会	渋谷金丸が源義朝の最後を常盤御前に伝えるために駆け抜けたといわれる古道が市内に点在しており、その古道を復元して整備・保存する活動を実施。現在は昼生地区での活動ですが、関係する地域にも拡大していく。
	31	ザ・ミュージックウォーカーズ	ジャズ愛好者のビッグバンドとして、県内外で演奏活動を実施。亀山市文化会館主催の文化会館フェスタ、亀山音楽祭やヒューマンフェスタ等で演奏を披露。
	32	三本松を元気にする会	亀山市内での各イベントでみそ焼きうどんをPRし、販売をしながら、本町4丁目祭（愛称：三本松祭）の作り物などでまちづくり活性活動に充てて、地域活性化を図っている。
	33	室内楽 Trio あさけ	地域住民ニーズに合わせた（曲目の選定と）演奏活動を実施。老人ホーム慰問や、小学校などの出前教室なども行っている。
	34	市民ネットワーク多聞	市の施設や福祉施設などに季節の飾りつけ等を実施。各地で行われるイベント出店に協力。
	35	写真サークル「どんぐり」	イベントの撮影等の依頼を受けている。撮影した写真をデータで渡す。
	36	心形刀流保存赤心会	毎週火曜日と土曜日に亀山演武場で稽古を実施。全国各地の武道大会や奉納演武会に参加。
	37	正調鈴鹿馬子唄保存会	毎月2回、馬子唄会館と関文化交流センターで練習会の実施。イベント（文化祭・敬老会・街道祭り・食の祭典等）に出演。
	38	せんりゅうくらぶ翔	毎月第4土曜日に市民協働センター「みらい」にて定例句会を開催。また、医療センターなどで作品展（2～3回/年）を開催。
	39	「第九」を愛する会	亀山市文化会館での「さいまつコンサート」に出演し、「第九」を合唱。レコードによるクラシック音楽の楽しみ方講座を開催したり、クラシックコンサートへの参加や案内も実施。「ひとのわコンサート」を全面支援。
	40	なかよし友っこ合唱教室	童謡や抒情歌の合唱。敬老会などのイベントに参加し、自分たちの歌の披露ばかりでなく皆さんとともに歌い、楽しんでもらっている。
	41	南京玉すだれはり香一座	玉すだれを通して、人と人との輪を笑顔でつなげていく。地区コミュニティや街道まつりなどで玉すだれや皿まわしを披露。また、老人施設、保育園・幼稚園、小学校でも披露。
	42	B L E S S	地区コミュニティのイベントや、近隣市町村のお祭りなどでゴスペル（コーラス）の演奏。
	43	三重岳仁会 亀山地区	漢詩、和歌、俳句、近代詩の研修や講習に参加し、吟道大会を開催。市民文化祭や各大会にも出場。
	スポーツ	44	亀山ダンススポーツ都忘れの会
45		多門	亀山市文化会館フェスタや地区コミュニティなどでよさこいソーランを踊っている。ジュニアからシニアまで幅広い年齢層で活動。
防災	46	かめやま防災ネットワーク	①小学生への防災教室開催 ②防災倉庫資機材点検・取扱説明会開催 ③地域への防災出前教室開催
	47	亀山絵本と童話の会	手作り絵本の製作・講習、折り紙の講習、童話の創作、人形劇、ジャンボ絵本の上演など。
子育て	48	亀山こども劇場	親子で一緒に年に3～4本の舞台公演を鑑賞したり、まつりやキャンプ、ハロウィンパーティーなどを企画し活動。
	49	子育て支援「かめのこ」	子育て中の親御さんのお手伝いをしましょうと結成されたボランティアグループ。ファミリー・サポート・センター活動や、研修会、講演会、サークル活動などに保護者が参加する場合に集団託児。また、親子でふれあい遊びをするサロンも開催。
国際交流	50	亀山国際交流の会 (KIFA)	亀山在住の外国人の方々と市民の交流の場づくりとして各国の料理教室や KIFAMIGO（ふれあい広場）、みらいじゅく等を開催し交流を行っている。
その他（人権）	51	ヒューマンネットワーク	市内各所にて人権についての学びの場を提供（人権よもやま話等開催）及び学校の人権教育に協力し、子どもたちにあったかお話をしている。
その他（男女共同参画）	52	アクティブ亀山	男女共同参画社会の推進、ワークライフバランスの推進。



★ もよおし

子どもの育ちに関する研修会

健康福祉部子ども総合センター
子ども支援室(あいあい ☎83-2425、FAX 83-2431)

児童虐待に対して、地域住民として何をすべきなのでしょうか。地域でできる家族支援や虐待防止について考えてみませんか。

とき 2月12日(木)

午後3時30分～5時

ところ あいあい2階研修室

演題 「児童虐待」今わたしたちがすべきこと

講師 三重県児童相談センター
所長 宮本隆弘さん

対象者 虐待防止に関心のある人や地域関係者、または子どもに関する仕事をしている人など

参加費 無料

申込方法 健康福祉部子ども総合センター子ども支援室へ電話、ファクスまたは直接お申し込みください。

※当日参加も受け付けます。

防災講演会

企画総務部危機管理局
危機管理室(☎84-5035)

南海トラフ地震などの自然災害に備え、防災・減災について、あらためて考えてみませんか。

とき 2月17日(火)

午後2時～4時

ところ 市文化会館中央コミュニティセンター

演題 家庭や地域の防災対策～大切な命を守るために～

講師 (株)危機管理教育研究所
代表 国崎信江さん

入場料 無料

※申し込みは不要です。

その他 平成26年8月に発生した広島土砂災害における自衛隊の災害派遣活動記録のパネル展示をロビーで行います。

男女共同参画講座

市民文化部文化振興局
共生社会推進室(☎84-5066)

まさに今、大規模災害が起こり、避難生活が始まったら…。男女共同参画の視点から、男女それぞれが抱える困難を踏まえた避難所運営について考えてみましょう。

とき 2月19日(木)

午後1時30分～3時

ところ あいあい2階研修室

演題 「防災・減災と男女共同参画」

講師 三重県男女共同参画センターフレンテみえ 所長
石垣弘美さん

定員 70人(先着順)

参加費 無料

申込期限 2月12日(木)

申込方法 市民文化部文化振興局共生社会推進室へ電話または直接お申し込みください。

第2回市民活動企画講座

市民文化部文化振興局
共生社会推進室(☎84-5066)

最近多発している悪質な商法(詐欺等)を知ること、どのようにすれば市民活動を通じて安心安全なまちづくりができるか考えてみませんか。

とき 2月20日(金)

午前10時～11時30分

ところ 市民協働センター「みらい」1階多目的ホール

演題 悪質な商法(詐欺等)について

講師 鈴鹿亀山消費生活センター職員

対象者 市内に在住する人

定員 50人程度(先着順)

参加費 無料

持ち物 筆記用具

申込期間 2月2日(月)～16日(月)

※土・日曜日、祝日を除く

申込方法 市民文化部文化振興局共生社会推進室へ電話または直接お申し込みください。

在宅医療講演会

住み慣れた場所での看取りのあり方
～自分らしい「生きかた=逝きかた」～

健康福祉部高齢障がい支援室
(あいあい ☎84-3313)

市では、自宅で安心して療養が送れるために「かめやまホームケアネット」という、医療・介護・福祉が連携した仕組みづくりを進めています。この度、本格稼働を広く周知するために、かめやまホームケアネット出発式と在宅医療講演会を開催します。

とき 2月22日(日) 午後1時～

ところ 市文化会館大ホール

内容

▷第1部…かめやまホームケアネット出発式

▷第2部…特別講演

(医療法人ゆうの森 永井康徳さん)

▷第3部…医療・福祉関係者によるジャズ・ピアノ演奏

入場料 無料

※申し込みは不要です。

その他 ホットコーナー同時開催(介護食の試食、お薬相談、福祉用具・訪問看護・在宅歯科ケア・フットケアの紹介など)

献血にご協力ください

健康福祉部健康推進室
(あいあい ☎84-3316)

街頭献血では、血液の安全性や医療機関のニーズに応じた400ml献血をお願いしています。

とき・ところ

▷2月12日(木)①午前9時30分～11時…市消防本部、②午後1時～2時…あいあい

▷2月26日(木)午後2時45分～4時30分…亀山商工会館

献血できる人 18歳(男性は17歳)から69歳までの健康で、体重が50kg以上の人

※65歳以上の人や海外に渡航歴のある人、服薬中の人には献血できない場合があります。

開館20周年記念講演会

歴史博物館(☎83-3000)

世界に冠たる明治生まれの亀山人、言語学者服部四郎氏のご子息で、自らは国文学者の服部旦(あさけ)さんに、父、服部四郎氏の研究や日常のエピソードをお話いただきます。

とき 3月1日(日)

午後1時30分～3時

ところ 歴史博物館講義室

演題 父、服部四郎 - 郷土を

愛する心、国を愛する心-

定員 40人(先着順)

参加費 無料

申込期間 2月7日(土)～22日(日)

申込方法 歴史博物館へ電話または直接お申し込みください。

かめやま会故の森 「森づくり体験」

かめやま会故の森環境整備協議会事務局(環境産業部森林林業室内 ☎96-1349)

広葉樹の伐採としいたけ菌打ち体験に参加しませんか。おいしいランチもあります。

とき 2月21日(土)

午前9時～正午

ところ かめやま会故の森(観音山公園アスレチックコース西)

※悪天候の場合は鈴鹿峠自然の家(内容変更あり)

対象者 市内に在住・在勤する人

※小学生以下は保護者同伴

定員 20人(先着順)

参加費 無料

持ち物など 作業ができる服装

(長袖、長ズボン、運動靴など)

申込期限 2月13日(金)

申込方法 かめやま会故の森環境整備協議会事務局へ電話でお申し込みください。

第35回

亀山市特別支援学級作品展

亀山市特別支援教育振興会事務局(川崎小学校 小幡 ☎85-0108)

市内の小・中学校の特別支援学級に在籍する児童や生徒の作品展です。子どもたちが、自分を表現し、楽しく取り組んだ作品の数々を展示します。

とき 2月14日(土)～16日(月)

午前10時～午後7時

※16日(月)は午後4時まで

ところ 亀山エコー1階催事場

東海道の

おひなさま

2月8日(日)～3月8日(日)

亀山宿・関宿



2月8日(日)

オープニングぜんざいふるまい

午前10時～

亀山宿：市民協働センター「みらい」、館家
 関宿：足湯交流施設
 ※いずれも先着100人



3月1日(日)

関宿ひなまつり市

午前10時～

おひなさまを見ながら特産品などの買い物を楽しみませんか(関宿一帯)。

着物を着ておひなさまめぐり

午前10時～

ご自分の着物を持参された人に無料で着付けします(抹茶券進呈)。

関宿：足湯交流施設(受付・着付)

2月22日(日)

小物講座(要申込)

午前10時～

亀山宿：市民協働センター「みらい」
 ※館家では期間中に随時開催します。
 募集人数 25人、参加費 500円



つるし雛講座(要申込)

午前10時～

関宿：足湯交流施設
 募集人数 25人、参加費 500円

2月28日(土)

春の寄せ植え講座(要申込)

午前10時～

亀山宿：市文化会館
 募集人数 25人、参加費 800円

午後1時30分～

関宿：足湯交流施設
 募集人数 20人、参加費 800円

3月7日(土)

おひなさまめぐりウォーキング(要申込)

午前9時30分出発～

集合場所 JR亀山駅

参加費 1,200円(保険・昼食代含む)

期間中

手形スタンプラリー

3つのスタンプを集めると抽選で市の特産品などが当たります。

問合・申込先

東海道のおひなさま実行委員会(市観光協会内 ☎97-8877)



暮らしの情報BOX



出張年金相談

日本年金機構津年金事務所
(☎059-228-9120)

社会保険労務士による出張年金相談を行います。年金の請求や受給など、年金制度についてお気軽にご相談ください。

とき 2月19日(木)
午前10時～午後3時

※正午～午後1時を除く

ところ 市役所西庁舎1階第4会議室

※相談は受付順です。

司法書士無料相談会

三重県司法書士会鈴亀支部
(☎97-3620)

とき 2月21日(土)
午前9時30分～11時30分

ところ 青少年研修センター

相談内容 遺言・遺産分割協議など相続登記、売買・贈与・担保権抹消など不動産登記、会社・法人登記、金銭トラブルなど身近な法律問題、借金や自己破産、成年後見など

相談料 無料

※申し込みは不要です。

2月の納期

(納期限・口座振替日)

3月2日(月)

固定資産税・都市計画税	第4期
国民健康保険税	第8期
後期高齢者医療保険料	第8期
介護保険料	第6期

市税などの納付は便利で確実な口座振替をお勧めします。



となりまち

情報交流ひろば

企画総務部広報秘書室
(☎84-5021)

いが・こうか・かめやま



伊賀市

伊賀上野・城下町のおひなさん ～ひな人形が春を告げる～

中心市街地の本町通り周辺を中心に、町家や商店など約60カ所で新旧さまざまなひな人形を展示します。飲食店や和菓子店では、ひな祭りをテーマにしたランチメニューやお菓子などを販売します。



期間中、さまざまなイベントを実施します。「クイズ&スタンプラリー」では、伊賀に関するクイズに解答し、会場を巡ってスタンプを集め、街中のお店で買い物をすると、抽選で伊賀の名産品が当たります。

「着物で歩こう城下町」では、期間中、協力店にて着物で買い物・食事をされた人に特典があります。ほかにも、伊賀焼などの各種おひなさん制作体験、なりきりおひなさん体験、おひなさんを鑑賞しながらお茶で一服できる雛見茶会、おひなさんにちなんだ絵手紙・俳句の展示など、楽しい企画が盛りだくさんです。

とき 2月21日(土)～3月3日(火)

ところ 伊賀市上野中町などの本町通り周辺

アクセス 伊賀鉄道上野市駅下車すぐ

問合先

伊賀市観光戦略課(☎0595-22-9670:平日)

伊賀上野観光協会(☎0595-26-7788:土・日曜日)

伊賀市広聴情報課(☎0595-22-9636)

甲賀市

信楽高原鉄道盆梅列車

～梅の香漂う列車に揺られ早春の信楽路へ～

地元の愛好家が丹精込めた盆梅を車内に展示し運行します。早春の信楽へ、ぜひお越しください。



とき 2月14日(土)～3月8日(日)の土・日曜日

●1日6往復運行

信楽駅発 9時46分、10時54分、11時54分、
12時54分、13時54分、14時54分

貴生川駅発 10時24分、11時24分、12時24分、
13時24分、14時24分、15時24分

盆梅展も同時開催

信楽駅に近い信楽地域市民センター東別館で、樹齢80～100年の盆梅約40席を展示した盆梅展も開催します。

とき 2月14日(土)～3月10日(火)
午前9時～午後5時

問合先 信楽高原鉄道株式会社(☎0748-82-3391)

甲賀市広報課(☎0748-65-0675)

税・確定申告に関する相談 税理士による日曜無料税務相談会

東海税理士会鈴鹿支部
 (☎059-382-7715)

税理士が無料で住宅借入金等特別控除、医療費控除または事業所得の申告書の作成をお手伝いします。

※譲渡所得・贈与税または相続税の相談は行いません。

と き 2月22日(日)

住宅借入金等特別控除

午前9時30分～

医療費控除

午前11時10分～

※いずれも10分前に受付開始
 ※会場の混雑状況により、受付を早めに終了することがあります。

事業所得(予約制)

午後1時～3時

※平成25年分の所得金額が300万円以下の人に限り(消費税の課税事業者の場合は、平成26年分の課税売上高が3,000万円を超える人を除く)。

ところ 鈴鹿市神戸コミュニティセンター(鈴鹿市神戸九丁目24-52)

※予約方法など詳しくは、東海税理士会鈴鹿支部(祝日を除く月

～金曜日の午前9時～午後2時)へご確認ください。



お知らせ

児童手当等を振り込みます

市民文化部保険年金室
 (☎84-5005)

平成26年10月から平成27年1月までの児童手当と特例給付(受給者の所得が所得制限限度額以上の人)を2月5日(木)に各受給者の申請口座へ振り込みます。

なお、受給者が公務員の場合は、勤務先から別途支給されます。

亀山市公式ホームページ リニューアルしました!

URL <http://www.city.kameyama.mie.jp/>

亀山市公式ホームページは、1月11日にリニューアルしました。デザインを刷新し、より見やすく、さらに掲載内容の分類の見直しを行い、目的の情報を探しやすくなりました。

リニューアルのポイント

1. 知りたい情報を分かりやすく分類・整理

知りたい情報に早くたどり着けるよう、暮らしの「こんなときには?」に合わせて、ライフイベント別に分類を見直しました。

2. 役立つ情報をいち早く!

トップページに「新着情報」「イベント情報」「募集情報」、そしてイベントカレンダーや亀山市公式フェイスブックを掲載し、最新の役立つ情報をお知らせします。また、YouTubeを活用した動画配信も始めました。

3. 災害時の迅速・的確な情報提供

大規模災害時に切り替える災害時専用トップページを作成しました。

4. アンケート機能を追加

より利用しやすいホームページ構築のため、各ページに利用者からの意見を入力できるアンケート機能を追加しました。

スマートフォンサイトを開設!

これまでの携帯版サイトに加え、スマートフォンサイトを開設しました。スマートフォンで亀山市公式ホームページを訪れると、自動的にスマートフォンサイトが表示されます。



問合先 企画総務部広報秘書室 (☎84-5021)



児童扶養手当法の 一部が改正されました

健康福祉部子ども総合センター
子ども家庭室
(あいあい ☎84-3315)

一人親家庭などの保護者へ支給される児童扶養手当は、これまで公的年金(遺族年金、障害年金、老齢年金など)を受給する人は受給できませんでしたが、年金額が児童扶養手当額より低い人は、その差額分の児童扶養手当を受給できるようになりました。

※児童扶養手当は、申請の翌月分から受給開始となります。なお、公的年金を受給している人で、平成26年12月1日に児童扶養手当の支給要件を満たしている人が平成27年3月31日までに申請した場合は、平成26年12月分から受給できます。

支給対象者 配偶者の死亡、もしくは障がい、または離婚などにより、子ども(18歳になってから最初の3月31日まで、または一定の障がいがある人は満20歳未

満)を養育している人

支給額(月額)

▷子ども1人の場合…全部支給41,020円、一部支給41,010円～9,680円

▷子ども2人以上の加算月額…2人目は5,000円、3人目以降1人につき3,000円

※監護・養育する子どもの数や支給対象者の所得等により受給額が決まります。前年の所得等が一定額以上ある場合は支給されません。

支給時期 4月、8月、12月

「こころの体温計」サービスの開始

健康福祉部健康推進室
(あいあい ☎84-3316)



市では、こころの健康状況やストレスの状態をパソコンや携帯

電話などを利用して、チェックすることができますのでご活用ください。

※このチェックは、医学的診断をするものではありません。

メニュー内容 本人モード、家族モード、赤ちゃんママモード、ストレス対処法タイプテスト、アルコールチェックモード

費用 利用料は無料です。

※通信料は自己負担となります。

利用方法 パソコンや携帯電話などで、ウェブサイト(URL: <https://fishbowlindex.jp/kameyama/demo/index.pl>)を開いて、画面の指示に従い操作してください。

※携帯電話やスマートフォンからは、下記のQRコードから利用できます。

その他 個人情報は一切取得しません。入力された情報は統計的なデータとしてのみ使用します。



QRコード

市立医療センターだより

市立医療センター(☎83-0990)

終末期医療とリビング・ウィル

●終末期医療とは？

病気が進行して死に近づいている状況で行う医療をいいます。最期まであらゆる治療を施し、病気の克服を目指す医療もありますが、高齢であったり病気そのものが治療不可能であったりする場合には、苦痛を和らげる「緩和医療」の適応となる場合があります。

●リビング・ウィルとは？

どんな病気でも懸命に闘って克服を目指すのが医療の原則ですが、現在の医療には限界があるため、本人の意思「リビング・ウィル」が尊重される場合があります。法的な効力は認められていませんが、「リビング・ウィル」とは、自らが自身の最期について考えられる状態の時に、どのような医療や処置を望むかということを書類として残しておくことをいいます。

医学は日々進歩しており、今日まで治療できなかった病気が明日には治療可能となるかもしれません。また、最期まであきらめずに闘う医療は必要であり、当然のことかもしれません。しかし、現実には耐え難い苦痛をこらえながら、自らが望んでいない治療を受けなければならないとすれば、「緩和医療」の適応を受けるかどうか、「延命治療」に対する希望などを事前に意思表示しておくことも重要ではないでしょうか。

皆さんも自身の最期をどう迎えるか、「リビング・ウィル」について、家族と話し合ってみてはいかがでしょうか。



麻しん風しん(MR)の 予防接種を受けましょう

健康福祉部健康推進室

(あいあい ☎84-3316)

麻しん・風しんは人から人へ感染する病気です。予防接種対象の人は忘れずに受けてください。

平成26年度の対象者

第1期 (1回目)	1歳～2歳未満
第2期 (2回目)	平成20年4月2日～ 平成21年4月1日生まれの人

接種方法 県内の各医療機関へ予約してください。

※県外で接種する場合は、健康福祉部健康推進室へご連絡ください。

接種料金 無料

持ち物 母子健康手帳、予診票、健康保険証、外国人は在留カード(外国人登録証明書または特別永住者証明書も可)

その他 予診票をお持ちでない

場合は、母子健康手帳を持参の上、健康福祉部健康推進室または健康づくり関センターへお越しください。

※詳しくは、個人通知や出生届時にお渡しした「赤ちゃんすくすく」の予防接種の案内をご覧ください。

妊婦一般健康診査を 受けましょう

健康福祉部健康推進室

(あいあい ☎84-3316)

市では、妊婦一般健康診査にかかる費用の一部を助成する医療券(14回分)を発行しています。健康診査を定期的に受診し、医師や助産師などのアドバイスを受けて、健康管理に努めてください。

※医療券は母子手帳交付時にお渡しする「母子保健のしおり」に入っています。無料券ではあ

りませんので、検査項目以外の検査が実施された場合などは、実費負担となることがあります。
 ※市外から転入した人は、健康福祉部健康推進室へお問い合わせください。

県外受診の費用も助成します

市内に住所を有し、県外の医療機関等で妊婦一般健康診査を受診した人にも、その費用の一部を助成します。

受診内容 県内で「妊婦一般健康診査受診票」を利用した場合の健診内容に相当するもの

助成回数 県内での利用と合わせて14回

申請期限 平成27年3月31日(火)
 (平成26年4月1日～平成27年3月31日受診分)

その他 申請書類をお渡ししますので、受診前に健康福祉部健康推進室へご連絡ください。

図書館の本棚から 市立図書館 (☎82-0542)



『いとの森の家』

ひがし 直子 / 著

ポプラ社(2014年10月刊)

都会から田舎に引っ越してきた加奈子は、自然の恵みに満ちた暮らしの中で命について考えはじめる。瑞々しい少女の成長物語。



『おわらない音楽 -私の履歴書-』

せいじ 小澤征爾 / 著

日本経済新聞出版社(2014年7月刊)

世界を駆け抜けた疾風怒濤の79年。未完の指揮者人生を爽やかに振り返る。『日本経済新聞』朝刊連載を書籍化。

～新着だより～

小説

- 東京ブラックアウト / 若杉 洸
- 風雪のペン / 吉橋 通夫
- 六花落々 / 西條 奈加
- 教団X / 中村 文則
- 高い窓 / レイモンド・チャンドラー

児童

- あなぐまアパート / あんびる やすこ
- にがいおくすりのめるかな / 深見 春夫
- 影なし山のりん / 宇佐美 敬子
- 魔女バジルと魔法のつえ / 茂市 久美子
- 東京駅をつくった男 / 大塚 菜生

その他

- 日本国憲法 / 谷口 真由美
 - やさしい季節の和菓子 / のむら ゆかり
 - くみひもBOOK / ingectar-e
 - うちの犬のキモチがよくわかる!
 - 認知症の介護に役立つハンドセラピー / 鈴木 みずえ
- 他466冊



各種検診・教室

体幹ストレッチ教室

東野公園体育館(☎83-1888)

とき 2月25日(水)
午後7時～8時
ところ 東野公園体育館会議室
対象者 18歳以上の人
定員 20人(先着順)
参加費 300円
持ち物など 動きやすい服装
申込開始日 2月2日(月)
申込方法 参加費を持参の上、東野公園体育館へお申し込みください。

初心者向けトレーニング講習会

東野公園体育館(☎83-1888)

トレーニング機器の説明と正しいトレーニング方法をアドバイスします。
とき 2月26日(木)
午前9時～正午
ところ 東野公園体育館トレーニング室
対象者 18歳以上の人
定員 20人(先着順)
参加費 100円
持ち物など 体育館シューズ、飲み物、タオル、動きやすい服装
申込開始日 2月2日(月)
申込方法 参加費を持参の上、東野公園体育館へお申し込みください。

小学生フットサル教室

東野公園体育館(☎83-1888)

とき 2月25日～3月25日の
毎週水曜日(3月11日を除く)
午後4時～5時(全4回)
ところ 東野公園体育館アリーナ
対象者 小学1～4年生
定員 15人(先着順)
参加費 2,000円(スポーツ保険料含む)
持ち物など 体育館シューズ、飲み物、タオル、動きやすい服装

申込開始日 2月2日(月)
申込方法 参加費を持参の上、東野公園体育館へお申し込みください。

南部スマイル教室 ～リズム体操～

きじゅえん
亀寿苑在宅介護支援センター
(☎84-1212)

とき 2月10日(火)
午後1時30分～3時
ところ 南部地区コミュニティセンター
対象者 おおむね65歳以上の人
や介護予防に関心のある人
参加費 無料
持ち物 上靴
※申し込みは不要です。

介護予防キラキラ教室 ～障がい者から見た自立と社会参加～

野村きぼう苑(☎84-7888)

とき 2月12日(木)
午後1時30分～3時
ところ 野村地区コミュニティセンター
講師 亀山市身体障害者福祉協会
視覚部長 後藤 完さん
対象者 おおむね65歳以上の人
や介護予防に関心のある人
参加費 無料
持ち物 筆記用具
※申し込みは不要です。

いきいき教室 転倒予防体操 ～転ばない身体づくり～

かおす
華旺寿在宅介護支援センター
(☎96-3131)

関いきいき教室
とき 2月13日(金)
午前10時～11時30分
ところ 健康づくり関センター
板屋いきいき教室
とき 2月17日(火)
午後1時30分～3時
ところ 林業総合センター

共通事項

内容 椅子に座ったまま安全に行える体操やレクリエーション
対象者 おおむね65歳以上の人
参加費 無料
持ち物など 上履き、タオル、動きやすい服装
※申し込みは不要です。
※開催時に健康チェックを行います。

亀山学校 ～口腔内の健康について～

亀山在宅介護支援センター
(☎83-5920)

とき 2月26日(木)
午後1時30分～3時
ところ あいあい2階大会議室
講師 生川歯科
院長 生川克弥さん
対象者 医療・介護・福祉や介護
予防などに関心のある人
参加費 無料
持ち物 筆記用具
共催 亀山医師会
※申し込みは不要です。

はつらつ教室 ～転ばぬ先の杖を見つけよう～

亀山在宅介護支援センター
(☎83-5920)

とき 2月26日(木)
午後1時～2時30分
ところ 長明寺町集会所
講師 日本レクリエーション協会
高本真貴子さん
対象者 おおむね65歳以上の人
や介護予防に関心のある人
参加費 無料
持ち物など 上靴、飲み物、動きやすい服装
※申し込みは不要です。



こころの健康相談

鈴鹿保健所地域保健課
(☎059-382-8673)

専門医が相談に応じます。秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

とき 3月5日(木)
午後1時30分～3時30分
(予約制)

ところ 鈴鹿保健所(県鈴鹿庁舎1階)

対象者 こころに悩みを持つ本人またはその家族など

費用 無料

申込方法 鈴鹿保健所地域保健課へ電話でお申し込みください。



募 集

亀山市男女共同参画審議会委員の募集

市民文化部文化振興局
共生社会推進室

(☎84-5066、FAX 82-9955)

任期満了に伴い、委員を募集します。これからの亀山市の男女共同参画の推進について一緒に考えてみませんか。会議は年2～4回程度、平日に開催する予定です。

応募資格 18歳以上で、市内に在住・在勤・在学する人

任 期 委嘱日から2年間

募集人数 2人(男女各1人)

※応募者多数の場合は、応募用紙による書類選考を行います。

応募期限 2月9日(月)必着

応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、郵送、ファクスまたはEメールで、市民文化部文化振興局共生社会推進室(〒519-0195 本丸町577 ☒ kyoseisyakai@city.kameyama.mie.jp)へ提出してください。

※応募用紙は、市民文化部文化振興局共生社会推進室にあります。また、市ホームページからもダウンロードできます。

関文化交流センター・関町北部ふれあい交流センター・林業総合センター施設管理人募集

市民文化部地域づくり支援室
(☎84-5008)

関文化交流センター

募集人数 1人

勤務日数 月15日程度(夜間を含む)

関町北部ふれあい交流センター

募集人数 1人

勤務日数 月8日程度(原則として夜間のみ)

林業総合センター

募集人数 1人

勤務日数 月14日程度(夜間を含む)

共通事項

業務内容 施設の管理運営と地域コミュニティ組織の事務補助など

応募資格 市内に住所を有し、基本的なパソコン操作ができ、地域のコミュニティ活動への関心が高い人

任用期間 4月1日～平成28年3月31日

勤務時間

▷昼間…午前8時30分～午後5時15分

▷夜間…午後5時～10時

休館日 毎週月曜日と年末年始(月曜日が祝日の場合は翌日)

賃 金 時間給770円

社会保険など なし

募集期限 2月13日(金)

応募方法 市民文化部地域づくり支援室へ履歴書を持参してください。

※応募者については、面接を実施します(日時は別途連絡します)。

マイクロバス運転手(非常勤)の募集

財務部契約管財室(☎84-5025)

募集人数 1人

職務内容 マイクロバスの運転および車両管理など

応募資格 62歳以下の大型自動車

免許取得者で、マイクロバスの運転経験がある人

登録期間 4月1日～平成28年3月31日

任用期間 1年以内(更新あり)

勤務時間 原則として午前8時30分～午後5時15分

勤務日数 月10日程度(土・日曜日、祝日の勤務を含む)

賃 金 時間給1,100円(予定)

社会保険など なし

募集期限 2月27日(金)必着

応募方法 財務部契約管財室へ履歴書および健康診断書を持参してください。

※応募者については、面接を実施します(日時は別途連絡します)。

小・中学校外国語通訳(相談員)募集

教育委員会教育研究室
(☎84-5077)

募集人数 外国語通訳(非常勤)、外国人児童生徒相談員、合わせて8人程度

職務内容 児童・生徒の学習支援、保護者の相談・対応、通信等の通訳など

応募資格 ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語のうち1つ、または複数の通訳と翻訳ができる人

任用期間 4月1日～平成28年3月30日

勤務時間 原則として午前8時30分から、5～6.5時間程度

勤務日数 月平均5～17日程度

勤務場所 市内小・中学校(市内幼稚園・教育委員会を含む)

賃 金 時間給1,250円(予定)

募集期限 2月13日(金)必着

応募方法 教育委員会教育研究室(〒519-0195 本丸町577)へ履歴書を持参または郵送してください。

※応募者については、面接を実施します【2月18日(水) 市役所】。



鈴鹿峠自然の家 施設管理(宿直)員の募集

教育委員会生涯学習室
(☎84-5057)



募集人数 若干名
業務内容 鈴鹿峠自然の家(関町杵掛123)の施設管理(宿直を伴う)
応募資格 普通自動車免許(AT限定可)を有する人
任用期間 4月1日～平成28年3月31日
勤務時間 原則として①午前8時30分～午後5時30分、②午後5時15分～午前8時30分
 ※施設の予約状況に応じて勤務時間の変動あり。
勤務日数 年間100日以内(土・日曜日、祝日の勤務を含む)
賃金 時間給770円(予定)
募集期限 2月27日(金)必着
応募方法 教育委員会生涯学習室(〒519-0195 本丸町577)へ履歴書を持参または郵送してください。
 ※応募者については、面接を実施します(日時は別途連絡します)。

青少年総合支援センター 補導員・支援員の募集

教育委員会生涯学習室
(☎84-5057)

補導員
募集人数 若干名
業務内容 青少年の補導業務、青少年対策の企画など
応募資格 青少年教育に関する知識や経験があり、普通自動車免許(AT限定可)を有する人
勤務時間 原則として①午前11

時30分～午後5時30分、②午後3時～9時のいずれか6時間
勤務日数 年間240日以内(土・日曜日、祝日の勤務を含む)
賃金 時間給1,100円(予定)
支援員
募集人数 若干名
業務内容 青少年の自立支援に関する相談業務
応募資格 青少年の自立支援に関する知識や経験があり、社会福祉士・心理カウンセラーなどの資格および普通自動車免許(AT限定可)を有する人
勤務時間 原則として午前8時30分～午後5時15分
勤務日数 年間240日以内
賃金 時間給1,100円(予定)
共通事項
任用期間 4月1日～平成28年3月31日
社会保険など 健康保険、厚生年金保険、雇用保険
勤務場所 青少年総合支援センター(青少年研修センター内)
募集期限 2月27日(金)必着
応募方法 教育委員会生涯学習室(〒519-0195 本丸町577)へ履歴書を持参または郵送してください。
 ※応募者については、面接を実施します(日時は別途連絡します)。

非常勤職員(市内公立保育所勤務)の募集

健康福祉部子ども総合センター
子ども家庭室(あいあい ☎84-3315)
職種 ①保育士、②介助員、③給食調理員、④看護師、⑤給食調理員(代替)
 ※①は保育士資格を有する人、④は看護師免許を有する人が対象
任用期間 4月1日～平成28年3月31日
勤務時間
 ▷①～④原則として午前8時15分～午後5時(7時間45分)

▷⑤午前8時15分～午後4時(6時間45分)
 ※①②は半日勤務(午前と午後で交代)あり
勤務日数 週5日(原則として土・日曜日、祝日は休み)
 ※⑤は月10日程度
賃金 ①保育士1,000円・フリー保育士1,150円・担任1,300円(いずれも時間給)、②③⑤時間給820円、④時間給1,250円
社会保険など
 ▷①～④健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働保険
 ▷⑤労働保険
募集期間 2月2日(月)～20日(金)
 ※土・日曜日、祝日を除く
 ※郵送の場合は20日(金)必着
応募方法 健康福祉部子ども総合センター子ども家庭室(〒519-0164 羽若町545)へ履歴書を持参または郵送してください。
 ※保育士は保育士証の写し、看護師は看護師免許の写しが必要
 ※応募者については、面接を実施します【2月23日(月)午後】。

かめやまレクスポ ユニカール大会参加チーム募集

市レクリエーション協会(亀山スポーツ連合会 ☎97-3686、FAX 97-3695)
とき 2月22日(日)
午前9時～午後3時
ところ 東野公園体育館
チーム編成 1チーム3人
参加費 一般(1人)500円、市レク会員(1人)400円(傷害保険料含む)
 ※当日会場でお支払いください。
持ち物 体育館シューズ、飲み物、タオル、弁当など
申込期限 2月16日(月)
申込方法 住所、氏名、年齢、電話番号、チーム名を記入の上、ファクスで亀山スポーツ連合会へお申し込みください。

子ども将棋大会参加者募集

児童センター (☎82-9460)

と き 2月14日(土)
午前10時～正午

ところ 児童センター集会室

対象者 小・中学生

募集人数 30人(先着順)

参加費 無料

申込期間 2月3日(火)～10日(火)

申込方法 児童センターへ電話ま

たは直接お申し込みください
(月曜日は休館)。

亀山サンシャインパーク フォトコンテスト2015 作品募集

亀山サンシャインパーク公園管理
事務所(森 ☎080-2632-8840)

昨年4月以降に亀山サン
シャインパークで撮影した、あな
たのベストショットを募集しま

す。応募作品は公園内で展示をし
ます。

募集テーマ 笑顔、四季、動植物

募集期限 2月28日(土)必着

※応募方法など詳しくは、亀山サ
ンシャインパークホームペー
ジまたはチラシでご確認ください。

URL <http://kameyama-sp.com>

ご意見をお寄せください！

意 見 公 募

意見を提出できる人 市内在住・在勤・在学の人、
市内で事業を行う人

閲覧場所 各担当室(あいあい)、市情報公開コー
ナー(市役所本庁舎2階)、関支所窓口

※閲覧は、各施設の開庁時間内にできます。また、
市ホームページでも閲覧できます。

URL <http://www.city.kameyama.mie.jp>

提出方法 下記の必要事項を記入(様式は自由)
の上、郵送、ファクス、Eメールまたは直接、
各提出先へ提出してください。

●ご意見の取り扱い

▷いただいたご意見は、取りまとめの上、回答とと
もに公表します。また、個別に直接回答はしませ
ん。

▷ご意見を提出いただいた人の氏名などの個人情
報は、公表しません。

▷いただいたご意見のうち、公表することにより
個人の権利や利益を害する恐れのあるものは、
その全部または一部を公表しないことがあります。

亀山市高齢者福祉計画(案)

健康福祉部高齢障がい支援室(あいあい ☎84-3313)

市では、老人福祉法第20条の8に基づき、高
齢者が住み慣れた地域で安心して自立と尊厳あ
る暮らしができるよう、「亀山市高齢者福祉計画」
の策定を進めています。

閲覧および意見の提出期間

2月2日(月)～3月3日(火)(当日消印有効)

提出に必要な事項

○件名「亀山市高齢者福祉計画(案)に関する意見」
○住所、氏名(ふりがな)、勤務先または通学先
(市外在住で市内在勤・在学の人のみ)

○意見

提出先 健康福祉部高齢障がい支援室(〒519-0164
羽若町545 FAX 82-8180 ☒ koureishougai
@city.kameyama.mie.jp)

亀山市子ども・子育て支援事業計画(案)

健康福祉部 子ども総合センター 子ども家庭室(あいあい ☎84-3315)

4月から実施予定の「子ども・子育て支援新制度」
は、幼児期の学校教育や保育、地域の子ども・子育て
支援を総合的に推進し、一人ひとりの子どもが健や
かに成長することができる社会の実現を目的とし
ています。新制度施行にあたり、子ども・子育て支援
法第61条第1項に基づき、5年を1期とする「子ど
も・子育て支援事業計画」を定めることとされ、この
度「亀山市子ども・子育て会議」の審議を経て、計画
(案)がまとまりましたので意見を公募します。

閲覧および意見の提出期間

2月2日(月)～3月3日(火)(当日消印有効)

提出に必要な事項

○件名「亀山市子ども・子育て支援事業計画(案)
に関する意見」

○住所、氏名(ふりがな)、勤務先または通学先
(市外在住で市内在勤・在学の人のみ)

○意見

提出先 健康福祉部子ども総合センター子ども家
庭室(〒519-0164 羽若町545 FAX 82-8180
☒ kodomokatei@city.kameyama.mie.jp)



※当事者間のトラブルについては、市は一切関与しません。

ぽっかぽか座談会 お悩み相談 ～子どもの成長を暖かく 支援するには?～

さまざまな悩みごと、子どもの成長について話し合ひましょう。

とき 2月16日(月)
午前10時～正午

ところ あいあい2階研修室
アドバイザー 健康福祉部子ども総合センター子ども支援室

対象者 障がいのあるお子さんの保護者、関心のある人など

定員 20人(先着順)
参加費 500円

託児 1人500円(定員5人)
申込方法 住所、氏名、電話番号、お子さんの年齢を記入の上、ファクスまたはEメールでお申し込みください。

申込・問合せ先 ぽっかぽかの会
(浜野 ☎・FAX 83-4956、
✉ y_hamano@kpa.biglobe.ne.jp)

「亀山宿語り部」の楽しい話

とき ①2月19日(木)、②3月19日(木)
※いずれも午後1時30分～2時30分
ところ 市民協働センター「みらい」

内容

- ① 仏像のお話(その2)
(語り部 古川正子さん)
- ② ヤマトタケルの紙芝居
(語り部 近藤義則さん)

※申し込みは不要です。

問合せ先 亀山宿語り部の会事務局
(近藤 ☎82-4657)

飾り巻き寿司教室 ～「ひなまつり」の巻き寿司～

いくら切っても絵柄が出てくる、楽しくておいしい「飾り巻き寿司」を一緒に作りませんか?

とき 3月2日(月)

午前10時～11時30分
ところ 青少年研修センター
参加費 2,600円(材料費含む)
申込期限 2月28日(土)
持ち物 エプロン、タッパー(持ち帰り用)、保冷剤

申込・問合せ先 ロール巻子の寿司教室(山岡 ☎090-3956-2533)

マクロビスイーツ教室 ヘルシー甘酒マフィン

とき 3月2日(月)
午前10時～午後0時30分

ところ 青少年研修センター
参加費 2,000円(材料費含む)
※持ち物はお問い合わせください。

申込期限 2月27日(金)
申込・問合せ先 Mitani Style
(三谷 ☎090-4795-4438)

B型肝炎 医療講演と 給付金の説明・個別相談会

集団予防接種によりB型肝炎ウイルスに感染した人に、国から給付金が支給されます。

この支給について、専門医による講演会と説明会を開催します。

とき 3月8日(日)
午後1時30分～4時15分

ところ 三重県教育文化会館本館5階大会議室(津市桜橋二丁目142)

内容

▷ B型肝炎の基礎知識講演会
(三重大学医学部附属病院)

消化器・肝臓内科副科長
准教授 白木克哉さん)

▷ 給付に関する説明・個別相談会
参加費 無料

※申し込みは不要です。

問合せ先 全国B型肝炎訴訟名古屋(愛知・岐阜・三重)弁護団事務局(あゆみ法律事務所内 ☎052-961-0788)



1月30日～2月4日

- ウィークリーかめやま
- 市役所からこんにちは「確定申告のお知らせ」
- エンドコーナー(みずきが丘道伯幼稚園②)

2月6日～11日

- ウィークリーかめやま
- 市役所からこんにちは「かめやま文化年2014【前編】」
- エンドコーナー(みずきが丘道伯幼稚園③)

※午前6時～午前0時まで30分番組(文字情報を含む)を繰り返し放送しています。なお、放送内容を変更する場合がありますので、ご了承ください。



平成26年交通事故発生状況



(12月末現在・亀山署管内)

人身事故	死亡者	負傷者	物損事故
179件(-11件)	1人(-1人)	248人(-29人)	1,359件(+58件)

※()内は昨年比の増減数

～厳寒期における雪寒対策について～

厳寒期を迎え、道路の凍結や積雪が予想されます。

積雪や凍結時の走行には、必ずスタッドレスタイヤやタイヤチェーンなどの冬用の装備をして走行しましょう。

亀山警察署(☎82-0110)



一次救急 当番医 2月

夜間・休日などの当番医療機関は、急病に対するものです。再来など継続的な利用はご遠慮ください。

問合せ先 ☎82-1111（市役所代表）

※救急に関することは、救急医療情報センター（☎82-1199）へお問い合わせください。

●夜間時間外応急診療(日曜日・祝日を除く)

市内内科系医師と市立医療センターの当番制で、夜間時間外の一次応急診療を実施しています。

【診療時間】 午後7時30分～10時

(受付時間 午後7時～9時30分)

日	医療機関名	担当医
2 月	市立医療センター 亀田町 83-0990	曾我
3 火	みえ呼吸嚔下リハビリクリニック アイリス町 84-3536	井上
4 水	市立医療センター 亀田町 83-0990	谷口
5 木	市立医療センター 亀田町 83-0990	当直
6 金	市立医療センター 亀田町 83-0990	当直
7 土	市立医療センター 亀田町 83-0990	当直
9 月	市立医療センター 亀田町 83-0990	曾我
10 火	伊東医院 野村三丁目 82-0405	伊東
12 木	市立医療センター 亀田町 83-0990	当直
13 金	市立医療センター 亀田町 83-0990	当直
14 土	市立医療センター 亀田町 83-0990	当直
16 月	市立医療センター 亀田町 83-0990	田中
17 火	みえ呼吸嚔下リハビリクリニック アイリス町 84-3536	井上
18 水	市立医療センター 亀田町 83-0990	谷口
19 木	市立医療センター 亀田町 83-0990	当直
20 金	市立医療センター 亀田町 83-0990	当直
21 土	あのだクリニック 阿野田町 83-1181	内田
23 月	市立医療センター 亀田町 83-0990	田中
24 火	伊東医院 野村三丁目 82-0405	伊東
25 水	市立医療センター 亀田町 83-0990	高橋
26 木	市立医療センター 亀田町 83-0990	当直
27 金	市立医療センター 亀田町 83-0990	当直
28 土	市立医療センター 亀田町 83-0990	勝木

●日曜日・祝日の当番医

【診療時間】 午後1時～7時30分(受付:午後7時まで)

日	医療機関名	担当医
1 日	ハッピー胃腸クリニック 本町二丁目 82-0017	豊田
8 日	皮ふ科野内クリニック 南崎町 98-4112	野内
11 祝	のぼのクリニック 能褒野町 85-3636	一見
15 日	松葉耳鼻咽喉科 東台町 83-0087	松葉
22 日	三井耳鼻咽喉科 栄町 82-4133	三井

お願い

- ・事前に各医療機関に電話で確認して受診してください。
- ・できるだけ昼間の診療時間内に受診しましょう。
- ・必ず健康保険証、医療費受給者証（乳幼児医療など）、診療費、おくすり手帳（または服用している薬）をお持ちください。

夜間時間外応急診療 参加医療機関の連絡先

- ・あのだクリニック(内田医師) 83-1181
- ・伊東医院(伊東医師) 82-0405
- ・かつき内科(勝木医師) 84-5858
- ・せきクリニック(曾我医師) 96-2220
- ・高橋内科クリニック(高橋医師) 84-3377
- ・田中内科医院(田中医師) 82-0755
- ・谷口内科(谷口医師) 82-8710
- ・みえ呼吸嚔下リハビリクリニック(井上医師) 84-3536
- ・市立医療センター 83-0990

急な子どもの病気の 電話相談



みえ子ども医療ダイヤル

☎ # 8000または059(232)9955
午後7時30分～翌朝8時

※みえ子ども医療ダイヤルは、電話相談であり、診察や指示などの医療行為は行いません。

医療機関の照会



救急医療情報センター (☎ 82-1199)終日

※救急医療情報センターの案内業務は、津市の「三重県救急医療情報センターコールセンター」で実施しています。



TOPICS KAMEYAMA CITY

1/1

獅子舞の披露

3年に一度となる「布気神社の獅子舞」、「三寺町の獅子舞」が、それぞれ布気皇館太神社、三寺町公民館で披露されました。いずれも市の無形民俗文化財に指定されており、神聖かつ勇壮な伝統芸能の舞に見物客は拍手を送っていました。



布気神社の獅子舞



三寺町の獅子舞

1/4

消防出初式

消防団員と消防職員の士気高揚を図ることを目的に、亀山西小学校体育館で消防出初式が開催されました。市内関係者約470人が参加し、厳粛な雰囲気の中で、団旗に対する敬礼、市長の式辞などに続いて表彰状の授与が行われました。また、式典終了後、池の側で、はしご車などから一斉放水が行われました。



1/18

かめやま“江戸の道” シティマラソン

西野公園を発着点に「かめやま“江戸の道”シティマラソン」が開催され、市内外から過去最多の1,848人のランナーが健脚を競いました。